

はじめに。。

一、この講座の目的

本講座は、必要最低限習得しておかなければならない文法・単語事項を復習する講座です。
一年生・二年生で学習した文法・単語の中から、最低必要なモノを凝縮して、おさらいし、
長文、難問に打ち勝つ土台を作る講座です。

二、なぜ文法・単語の土台(基礎)作りが必要なのでしょう？

A. 1 「ストーリー」を読み間違わないため

助動詞「め」

打消↓見ない

見ぬ・

完了↓見た

1 ストーリー把握のため

文法・単語力を使って
間違わずに把握

A. 2 「傍線部問題」を正確に解くため

読解問題

傍線部問題(訳)問題

心情問題
理由問題
主張問題
和歌解釈問題

2 傍線部問題解答のため

文法・単語力を使って
正確に解く

これらの問題を正確に解くために、文法・単語の基礎が必要

三、傍線部解釈(訳)問題の解き方＝緻密に分析解き

1. まず、

品詞分解して、

ポイント語^注をチェック、忠実訳

(ポイント語がしっかり訳されているものを残す)

ここで文法力を使って、選択肢を絞る

2. 二択になったら、

選択肢の違いを見極めて、

前後のつながり(文脈)に合う方を選ぶ！

(指示語があれば指示内容をしつかり見る！)

決定

1.

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

2.

選択肢の違いを見る

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語

忠実訳

ポイント語を忠実に訳しているものを選ぶ

選択肢

ポイント語^注

e. d. c. b. a.

敬語
助動詞
助詞
呼応の副詞
重要単語

重要単語・文法事項

四、体験問題

解説問題 品詞分解してポイント語をマーク、忠実訳をやる練習

問1 次の文章は『桂園遺文』の一節で、作者に歌の詠み方を教わった「おさな（幼い子）」が、次々に歌を詠み出した場面である。

問 傍線Dの解釈として最も適当なものを、後の①～⑤のうちから選べ。

さて、次々に言ひ出づるを聞くに、

D かななりなるは言ふにたらず、その心は入は真心にして、さらに歌のほかならず。

- ① 未熟でお話にならないほどよく、歌に対する真剣な姿勢は見られるものの、とつてい歌であるとはいえない。
- ② 未熟であることは言うまでもないが、素直な気持ちが込められているので、十分に歌と呼べるものである。
- ③ 未熟であるのは言うまでもないことで、素直な気持ちが込められているが、まったく歌の体をなしていない。
- ④ 未熟であるなどということはなく、素直な気持ちが込められているので、歌以外の何物でもない。
- ⑤ 未熟であるなどということはなく、歌に対する真剣な姿勢は見られるので、歌であるというほかはない。

解説問題 品詞分解してポイント語をマーク、忠実訳をやる練習

問2 次の文章は、『今鏡』の一節である。敏捷な行動で有名な藤原成通は、宮内卿有賢の邸の女房のもとに夜々忍んで通っていた。誰が通っているのが怪しんだ邸の侍たちが、打伏せようと相談している。

女房いみじく思ひ嘆きて、例の日暮れにければおはしたりけるに、泣く泣くこの次第を語りければ、

A 「い」と苦しかるまじきことなり。きと帰り来む。」とて、出で給ひけり。

問 傍線A「い」と苦しかるまじきことなり。きと帰り来む。」の解釈として最も適当なものを、後の①～⑤のうちから選べ。

- ① 私にとってそれほどつらいことではありません。すぐに戻って来てください。
- ② 私にとって少しも気にならないことです。すぐに戻って来ましょう。
- ③ あなたを決して困らせるようなことはしません。すぐに戻って来てください。
- ④ 二人の仲は誰にはばかる必要ありません。すぐに戻って来ましょう。
- ⑤ 二人の仲は決して絶えるようなことはありません。すぐに戻って来るでしょう。

共通テストレベル古文を学ぶべし

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 一講 重要単語とは？
——古文長文の読み方 | 六講 識別2 |
| 二講 動詞・形容詞・形容動詞・
助動詞1(接続) | 七講 敬語 |
| 三講 助動詞2 | 八講 主語を問う問題 |
| 四講 助詞 | 九講 解釈問題の解き方1 |
| 五講 識別1 | 十講 解釈問題の解き方2 |
| | 十一講 総合問題 |